

泡消火設備試験結果報告書											
試験実施日 年 月 日											
試験実施者											
住 所											
氏 名											
用 途	()項				構 造						
延べ面積	m ²				階 数	地上	階	地階	階		
	固定式 (全域放出方式 局所放出方式)				移動式						
試 験 項 目					種別・容量等の内容				結果		
外 観 試 験	水	源	水源の種類・構造		—————						
			水 量		m ³ (縦 m横 m有効深さ m)						
			吸水障害防止措置		有 ・ 無						
			給 水 装 置		—————						
			耐 震 措 置		有 ・ 無						
	加 圧 送 水 装 置	ポンプを用いるもの	設 置 場 所								
			ポンプの仕様	製造者名			定格吐出量		L/min		
							定格全揚程		m		
				型式			製造番号				
			電動機の仕様	製造者名			種別		型電動機		
							定格電圧		V		
				型式			定格電流		A		
			ポンプ・電動機	製造番号			出力		kW		
				設置状況	設 置 状 況			—————			
					接 地 工 事			種接地			
					配 線			—————			
			潤 滑 油			—————					
水温上昇防止のための逃し装置	配 管 ・ バ ル ブ 類			管の呼び		A					
	オ リ フ ィ ス 等			流過口径		mm					
性能試験装置の配管・バルブ類					—————						

試 験 項 目					種 別・容 量 等 の 内 容		結 果
外 観 試 験	加 圧 用 送 水 装 置	ポ ン プ を 用 い る 起 動 装 置 の 置	呼 水 装 置	材 質	鋼板製・合成樹脂製		
				水 量	L		
				溢 水 用 排 水 管	管の呼び	A	
				呼 水 管	管の呼び	A	
				補 給 水 管	管の呼び	A	
				減 水 警 報 装 置	フロートスイッチ・電極		
		制 御 装 置	設 置 場 所				
			制 御 盤	――			
			予 備 品 等	――			
			接 地 工 事	種接地			
		圧力計・連成計	設 置 位 置	――			
			性 能	級			
		減 圧 措 置		有 ・ 無			
		起 動 装 置 の 置	直 接 操 作 部				
			起 動 用 水 圧 開 閉 装 置	起 動 用 圧 力 タ ン ク	第 2 種 圧 力 容 器 ・ 高 圧 ガ ス 圧 力 容 器		
				タ ン ク の 容 量	L		
				配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び	A	
			自 動 式 起 動 装 置	閉鎖型スプリンクラーヘッド	――		
				自 動 火 災 感 知 装 置	――		
			手 動 式 起 動 装 置	設 置 場 所 等	――		
				設 置 高 さ	床面からの高さ		m
				構 造	――		
				表 示	――		
			流 水 検 知 装 置		――		
		高 架 水 槽 を 用 い る も の	構 造				
			内 容 積 ・ 落 差	m ³ m			
			配 管 ・ バ ル ブ 類	――			
			水 位 計	――			
		圧 力 水 槽 を 用 い る も の	種 類 ・ 構 造	第 2 種 圧 力 容 器 ・ 高 圧 ガ ス 圧 力 容 器			
			内 容 積 ・ 有 効 圧 力	m ³ MPa			
			自 動 加 圧 装 置	有 ・ 無			
			配 管 ・ バ ル ブ 類	――			
			水 位 計 ・ 圧 力 計	――			
		耐 震 措 置		有 ・ 無			

試 験 項 目				種 別・容 量 等 の 内 容								結 果
外 												

[illegible]

試 験 項 目					種 別・容 量 等 の 内 容					結果			
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 試 験	ポ ン プ を 用 い る も の	呼 水 装 置 作 動 試 験	減水警報装置作動状況		底面からの高さ					cm		
				自動給水装置作動状況		————							
				呼水槽からの水の補給状況		————							
			制 御 装 置 試 験	起動・停止操作時の状況等		————							
				電源切替時の運転状況		————							
			起 動 装 置 試 験	ポンプの起動状況等		————							
				起動表示の点灯状況		————							
				起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力		設定圧力 作動圧力					MPa MPa		
			ポンプ試験	運 転 状 況		————							
				※締切り運転 時の状況	締切揚程						m		
					電 圧						V		
					電 流						A		
				※定格負荷運 転時の状況	定格揚程						m		
					電 圧						V		
					電 流						A		
			※ 水 温 上 昇 防 止 装 置 試 験				逃し水量					L/min	
			※ ポンプ性能試験装置試験				表示値の差					L	
			高架水槽を 用いるもの	作動試験	給水装置作動状況		————						
				静 水 圧 測 定		最下位 MPa 最上位 MPa							
			圧力水槽を 用いるもの	作動試験	給水装置作動状況		————						
					自動加圧装置作動状況		————						
				静 水 圧 測 定		最下位 MPa 最上位 MPa							
			配 管 耐 圧 試 験				試験圧力					MPa	
			手 動 式 起 動 装 置 試 験				————						
			流 水 検 知 装 置 ・ 表 示 等				————						
総 合 試 験	泡放射試験 (低発泡に よるもの)	固 定 式	放 射 区 域										
			起 動 性能等	自動火災感知装置による起動									
				手動起動装置による起動									
			ヘ ッ ド の 放 射 状 況										
			放射圧力 (MPa)	最 高									
				最 低									
			希 釈 容 量 濃 度 (%)										
発 泡 倍 率 (倍)													

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」（平成 9 年消防庁告示第 8 号）に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。

4 結果の欄には、良否を記入すること。

5 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

6 総合操作盤が設けられているものにあつては、総合操作盤についての試験結果報告書を添付すること。